レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	民間活力の活用による首都圏等での移住促進セミナーの強化（カムバックひょうご促進事業）	部（局）	企画部
		所管課	地域振興課
		担当班	交流推進班
		連絡先	078-362-4263

開始年度	平成27年度	終了年度	―	関連計画等	―
事業区分	☑ 国補助事業　□ 県単独事業				
実施方法	□ 直執行　☑ 委託　□ 補助　□ その他（　　） ※～R3：直執行、R4～:委託			実施主体等	県

事業目的	首都圏や大阪等の都市部における、県内市町や県民局と連携した「兵庫の魅力」の効果的な情報発信・広報イベントの実施を通じて、県外からの移住・定住を促進する。
事業概要	・先輩移住者による講演や意見交換、移住後に各分野で活躍する方々によるパネルディスカッション等のイベントを、より効果的な情報発信手法とするために民間事業者への委託により実施 ・地域の魅力･特性を熟知する県民局及び市町との綿密な連携により実施
業務フロー	～R3：県民局や市町との合同開催を前提に、年に２～３回程度、県主催の移住促進セミナーを実施 R4：コロナ禍の影響でｵﾝﾗｲﾝによる実施など、新たな実施手法が進展したことを踏まえ、専門的・先進的な民間活力の活用を図るため、企画提案方式により民間委託(東京４回、大阪１回) R5：関西圏への県外転出も多いことから、実施箇所として大阪を追加･拡充 R6～：開催回数を７回→10回へ拡充
R5レビュー時の外部委員会意見	・移住者の獲得に成功しているエリアのイメージ戦略・情報発信の手法や、人気移住サイトの例など好事例をまずは参考にすべき。 ・移住の人気エリアはその地域の人が頑張っていることも要因である。その地域を盛り上げるスターの育成支援にも取組まれたい。 ・委託事業者とは、どんな人に来てもらいたいのか、何年先まで住んでもらいたいのか等の中長期的な視点を共有し、それにあったイベント実施を　展開されたい。 ・移住サイトのレイアウトについて、全県一律ではなく、伸ばしたい地域をアピールする構成とされたい。また、子育てや農業にフォーカスしすぎてしまうことで、そこに関心のない層を取りこぼしてしまうことのないよう、仕事なども含め、移住者の関心　の高い項目のバナーを並べるなどの工夫をすべき。 ・イベント参加者のアンケート結果や、移住支援サイトへのアクセスのログ解析から、移住希望者の関心事についての分析は継続的にされたい。
改善結果（改善状況 取組過程）	・他自治体が実践しているWebﾀｰｹﾞﾃｨﾝｸﾞ広告や、首都圏等における総合的な対面の移住ｲﾍﾞﾝﾄの開催等、あらゆる手法を活用し、情報発信を強化 ・移住促進ｾﾐﾅｰ実施において、企画ｺﾝﾍﾟにてﾀｰｹﾞｯﾄ層も提案項目に入れるなど、企画立案の段階から民間活力を活用できるよう、実施手法を工夫 ・県移住サイトについては、情報発信に積極的な市町に対し、より魅力的な内容およびコンテンツとなるようアドバイスを行うなど支援を強化 ・あわせて、移住検討者が個々の興味・関心がある情報を容易に取得できるようなカテゴリー分類とタグ付けを整理 ・移住関心層と地域のﾏｯﾁﾝｸﾞｻｲﾄ「SMOUT」を活用し、移住ｲﾍﾞﾝﾄの効果的な発信や、ﾕｰｻﾞｰのﾘｱﾙﾀｲﾑの反応･ﾆｰｽﾞを分析する機能を利用し、支援施策に反映

事業に要するコスト

区分			５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①			6,977 千円	9,976 千円	10,000 千円	10,000 千円
経費内訳		報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		委託料	6,977 千円	9,976 千円	10,000 千円	10,000 千円
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
（財源内訳）		(国庫)	(3,488千円)	(4,988千円)	(5,000千円)	(5,000千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(3,489千円)	(4,988千円)	(5,000千円)	(5,000千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載			6,904 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
執行率((①/②)×100)			101.1%	99.8%	100.0%	100.0%
人件費③（a＋b＋c）			従事人員 2.0人 17,810 千円	従事人員 2.0人 17,238 千円	従事人員 2.0人 17,994 千円	従事人員 2.0人 18,876 千円
	職員給与費	a	14,992 千円	14,778 千円	15,806 千円	16,416 千円
	賞与引当金繰入額	b	1,716 千円	1,248 千円	1,188 千円	1,248 千円
	退職手当引当金繰入額	c	1,102 千円	1,212 千円	1,000 千円	1,212 千円
総コスト(①＋③)			24,787 千円	27,214 千円	27,994 千円	28,876 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　　様式３

評価指標	指標名	区分	５年度実績	６年度実績	７年度実績	８年度目標	最終目標【年度】
評価指標	成果指標（アウトカム指標①） カムバックひょうごセンターにおける移住相談件数（累計）	目標	39,100	47,300	48,500	49,780	54,100
		実績（見込）	21,192	22,236	23,634	(49,780)	【R11年度】
		（単位当たりコスト）	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	
		達成率（見込）	54.2%	47.0%	48.7%	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標②） カムバックひょうごセンターでの相談を経由した移住者数（累計）	目標	288	333	378	423	558
		実績（見込）	437	495	562	(595)	【R11年度】
		（単位当たりコスト）	(57 千円)	(55 千円)	(50 千円)	(49 千円)	
		達成率（見込）	151.7%	148.6%	148.7%	(140.7%)	
	成果指標（アウトカム指標③）	目標					
		実績（見込）					【年度】
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標①） 市町との合同移住相談会の開催数	目標	9	9	10	10	11
		実績（見込）	9	10	8	(10)	【R11年度】
		（単位当たりコスト）	(122 千円)	(121 千円)	(125 千円)	(121 千円)	
		達成率（見込）	100.0%	111.1%	80.0%	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標					
		実績（見込）					【年度】
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標					
		実績（見込）					【年度】
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	終期設定	有（　　）・（無）					
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	・地方回帰志向の高まりや、転出超過数が縮小傾向にある首都圏、大阪を中心に事業を展開 ・市町や他部局、関係団体と連携したｲﾍﾞﾝﾄ実施やWebﾀｰｹﾞﾃｨﾝｸﾞ広告・ﾏｯﾁﾝｸﾞｻｲﾄの活用により、相談機会の創出や情報発信の強化を図り、実績の改善は見られるものの累計相談件数は目標未達成	B：ほぼ満足のいく実施状況 ・コロナ禍を経た働き方の変化や、価値観の多様化による地方移住への関心の高まり等により、移住相談件数、移住者数ともに着実に増加している。 ・イベント実施において、民間事業者の活用や、市町・他部局との連携により移住関心層へのアプローチを強化し、相談件数の増加に努めているが、累計数の目標達成には至っていない。 ・相談を経由した移住者数、市町との合同移住相談会開催数は概ね目標を達成 ・移住関心層への適切なターゲティングや様々な広報媒体の有効活用など継続的な改善・検討を行い、相談件数及び移住者数の増加を目指す。 [参考：活動指標①移住相談件数の目標値について] ・従前から設定の移住相談件数の目標値については、相談件数のほかにイベント参加者等を含んだ数値 ・実際の相談件数と乖離があることから、第三期地域創生戦略（R7～）において見直し（相談件数目標値：R7:1,200件、R11:1,520件（80件/年の増加）） ・R7実績は1,398件で単年の目標は達成
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	・民間事業者の活用や情報発信に対する反応やニーズ分析の実施により、適切な業務分担や効果的な企画実施による効率的な事務執行を図った。 ・今後もニーズを捉えた地域の魅力発信や講演テーマの設定、企画力の高い適切な民間事業者の選定等を進め、更なる費用対効果の向上に取り組む。	

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明：・地方回帰志向の機運を逃さないために、移住相談件数の更なる増加を図るとともに、移住関心層に的確に届くｲﾍﾞﾝﾄ内容・広報による、効率的な施策実施の実現のため、事業者選定での工夫等を通じて、民間ノウハウ活用の最大化を図ることが必要
・移住関心層に兵庫を選んでもらうため、具体的なアプローチ手法の検討や、兵庫の魅力発信の更なる向上に引き続き取り組むとともに、地域の特性を熟知する県民局や市町との一層の連携強化が必要

外部委員会意見

・民間活力の活用やデジタル広報、ターゲティング手法の導入など、R5年度レビューにおいて指摘された改善事項については一定程度対応が進み、市町との合同相談会や相談経由の移住者数は概ね目標を達成している点は評価できる。
・一方で、主要成果指標である移住相談件数は依然として目標を大きく下回っており、事業費拡大に見合う効果検証に課題が残る。
・R8の移住相談件数（含イベント参加者数）の見込は現実的ではないように思われるので、蓋然性の高い見込を記載するのが望ましい。
・イベント参加者数は移住相談件数とは直接的に紐つかない為、区分して開示、分析するのが望ましいと考える。
・産業労働部が就職相談用サイトとして設置している「カムバック兵庫」のターゲットは、同事業のターゲットと重複していると考える。産業労働部とも連携して、移住希望者のニーズを汲み取ることも効果的であると考える。
東京、大阪、サイト内での相談件数に分けて分析し、相談件数を増やすための取り組みをするのが望ましいと考える。また移住者の年代や家族形態を区分し、ターゲットとの比較分析も有効かと思われる。
・今後は、事業と移住実績との因果関係を明確化するとともに、移住後の定着状況も含めた成果指標の設定、市町との戦略的連携強化及び費用対効果の検証を進めることも重要である。